学校番号	301

令和２年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	啓林館「詳説　数学Ａ」－改訂版－						
副教材等	傍用問題集「マスグレード　改訂版　数学Ⅰ＋A」（啓林館）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２ 学習の到達目標

場合の数と確率，整数の性質または図形の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を養い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質における考え方や体系に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考え，表現する。	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，よりよく問題を解決する。	数学的活動を通して，場合の数と確率，整数の性質または図形の性質における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 単元テスト ワークシート レポート 観察等	単元テスト 定期テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	場合の数と確率	場合の数 順列・組合せ	○	○	○	○	a: 場合の数の考察に樹形図を活用しようとしている。 b: 事象を順列・組合せや確率を用いて考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 条件がつく組合せの問題について見方を変えるなどして処理することができる。 d: 組合せの用語，記号，公式の意味を理解している。	テスト レポート 観察等
1学期・2学期	場合の数と確率	確率とその基本性質 独立な試行の確率 条件利付き確率	○	○	○	○	a: 積事象・和事象，排反事象，確率の基本性質などに関心をもち，確率の考察に活用しようとしている。 b: 反復試行の確率を用いて，具体的な問題を考察することができる。 c: 条件つき確率の式や確率の乗法定理を用いて確率を求めることができる。 d: 条件つき確率を求めるための基礎的な知識を身につけている。	テスト レポート 観察等
2学期	整数の性質	約数と倍数 ユークリッドの 互除法と不定方程式 整数の性質の活用	○	○	○	○	a: 約数と倍数に関心をもち，いろいろな数の倍数を見分けようとしている。 b: 公約数や公倍数の考えを用いて，事象を考察することができる。 c: ユークリッドの互除法の仕組みを理解し，それを用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。 d: 2元1次不定方程式の整数解を求めるための基礎的な知識を身につけている。	テスト レポート 観察等
3学期	図形の性質	三角形の性質 円の性質 空間図形	○	○	○	○	a: 図形の性質に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 円の基本性質と円周角の定理とその逆を用いて，角度を求めたり，図形の性質を証明したりすることができる。 c: 円の接線の長さの定理，接線と弦のつくる角の定理を用いて，辺の長さや角度を求めることができる。 d: 円の接線の長さの定理，接線と弦のつくる角の定理を理解している。	テスト レポート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。